

千葉南高校 保健室だより

令和2年度第1号 保健室

初めて長期休校を経験して感じること

養護教諭として30年以上働いてきた。インフルエンザや感染性胃腸炎の流行時期でも、生徒には適切な医療を受けてもらいみんな元気で学校に戻ってきた。麻疹が流行した時は、神経をピリピリさせて、学校での集団感染が起きるのを何とか防いできた。新型インフルエンザのパンデミックの時は次々と感染報告が入った。最初は強毒性の鳥インフルエンザの可能性もあったから、防護服も用意しておいたんだよ。でも正体はメキシコで豚ちゃんから人に感染したことから始まった、H1N1というタイプの、感染しても命を落とすようなものではなく、本当にほっとしたよ。

最近の感染症で不思議だなんて思っていることがある。それは季節に関係なく感染者が出るってこと。これまでは流行する時期がたいてい決まっていたけど、例えば春や夏にインフルエンザに罹ったりすることも出てきたんだ。南半球は季節が逆だから、そこに旅行して感染してきたってこともあるかもしれないけど。でもそれは以前だってあったはずだし…。

性感染症についても最近の傾向として、私を感じることは、「症状がはっきりしない」ものが増えているということ。はっきりしないということは、感染しても本人は気づかないということだよ。だから、知らないうちに他の人に感染させてしまうリスクが高くなっているんだよ。

ウイルスや菌などの病原体は、人にとりついてなんぼだから、感染した人がすぐに感染に気がいたら、病院に行って薬をもらってやっつけられちゃうから、過去の反省を踏まえてできるだけ自分がとりついたことを知られないようにして、なるべく宿主の身体にいさせてもらおうと思っているのかなって気がするんだよ。

これまで勤務してきた学校では学級閉鎖すら一度もなく、何とか無事に学校が通常に動いていた。しかし新型コロナウイルスは、その経験を覆す存在となってしまった。こんなに長く休校という経験は私にはない。それに学校が再開すると思ったら、またそれが急に変更になって、みんなとはずっと会えなくなっちゃった。(泣)

新型コロナウイルスが怖いのは、上に書いたように「自分が感染しているかどうか分からない」人がたくさんいるということ。だから悪気はなくても、結果的にコロナの運び屋として使われてしまうことになる。従ってこの感染を終わらせるためには「**元気な人も家にいて、人と会わない**」方法が最も有効なんだよ。コロナにとっては、AさんからBさんへ自分の生きる場所を広げたいけど、人への繋がりが絶たれてしまえば彼らはどうすることもできない。

ただの薄い脂肪の膜をまとったタンパク質だからね。

ペストの流行などをはじめとした感染症の歴史と同様に、今みんなは感染症史に残る事態の中にいる。将来みんなが大人になった時に、自分はどう行動したか、それを子どもや後輩たちに胸を張って語れるように、またこの感染が終息した時に、あの時の高校生は素晴らしかったと賞賛されるように、一人ひとり自らが考えて行動してほしいと切に願っている。

ご紹介:コロナより断然強いクマムシさん。超高温超低温、長期間の乾燥、大量の放射線、真空でも生きられる!

